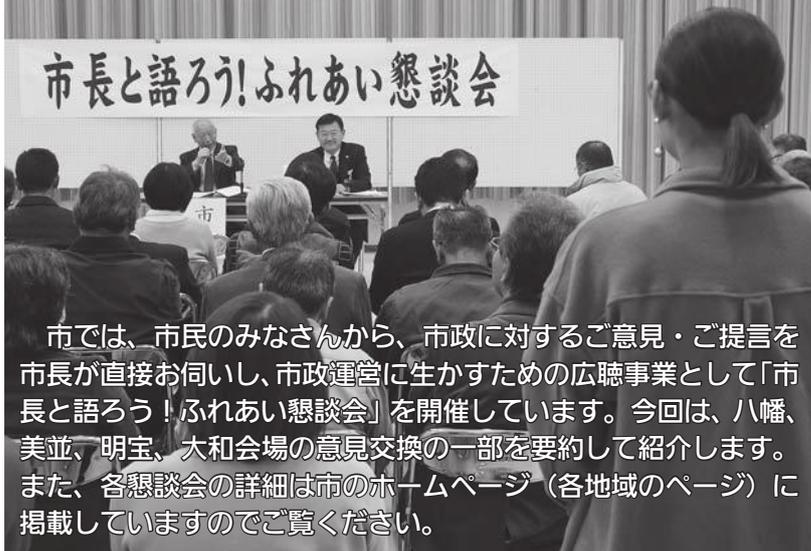


郡上市合併15年 これまでとこれから

令和元年度 市長と語ろう！ふれあい懇談会

市長と語ろう！ふれあい懇談会

市では、市民のみさんから、市政に対するご意見・ご提言を市長が直接お伺いし、市政運営に生かすための広聴事業として「市長と語ろう！ふれあい懇談会」を開催しています。今回は、八幡、美並、明宝、大和会場の意見交換の一部を要約して紹介します。また、各懇談会の詳細は市のホームページ（各地域のページ）に掲載していますのでご覧ください。



八幡会場（11月20日）

◆那比公民館や相生公民館では子どもたちが自主的、意欲的に地域の活動を支え盛り上げている。市としてこのような活動を紹介できないかと考える。また、公民館の研修として市の施設を見学する際に減免措置などお願いしたい。

市長：公民館活動を中心とした地域づくりに感謝する。また、中学生などが一生懸命関わっている

ることは、「中学生ふれあい懇談会」でも聞いており、このような活動を讃えたいと考える。また、公民館活動として、施設の減免対応については可能であり、教育委員会へ相談していただきたい。

◆八幡の市街地は狭い道路が多く、速度の速い車など大変危険である。そこで、道路の区画線を車幅に合わせて引くことで、

紹介していききたいと考える。

視覚的に狭いように感じさせてはどうか。

市長：八幡町内は道幅が狭い場所が多く、低速走行に留意する必要がある。11月に八幡町の市街地で行った「交通社会実験」の結果などを踏まえ、道路整備や交通規制などできることを検討したい。

◆これまで農業の6次産業化に取り組んできたが、年々、加工所の衛生管理が厳しくなってきたり、現在の施設が今後でも使用できるかわからない。新たな設備投資には、多額の費用がかかる。事業所単独の対応では難しいため、道の駅など売り場に近いところで共同で使用できる加工所があると良いと考える。

市長：加工所については、どのような加工品を作るかによって施設の設備内容も変わってくるため共同利用は難しいと考える。

◆「郡上食育応援隊」は、平成25年から活動をしている。郡上食育キャラクターの「たーんと君」の着ぐるみは、頭が重く活動に支障がある。二代目の製作や食に関する事業への予算の確保をお願いしたい。

市長：食育応援隊は、食育推進のため成人式などでも活躍していただいている。現在の「たーんと君」の着ぐるみは、県の補助を受けて製作されたもので

ある。二代目の製作については利用状況を考慮し検討したい。



美並会場（11月22日）

◆最近、近所で窃盗被害が発生し、防犯面で不安を感じる。市の助成金でLEDの防犯灯を設置しているが、防犯カメラ設置についても助成をお願いしたい。

市長：犯罪から生活を守ることが、非常に大切である。防犯カメラは犯人逮捕の決定的な証拠になる場合もあるため、有効性を感じる。その反面、プライバシーや設置にかかる経費の負担などの課題がある。同種の助成制度を実施している自治体の事例をよく研究したい。

◆美並巡回バスを利用して、美並町から郡上市民病院や美濃病院へ通院する場合、週2回しか運行しておらず不便を感じる。また、長良川鉄道の運行時刻との連携ができていない。美並巡回バスの車両を小型化し、複数台で運行するなど検討できないか。

市長：病院への通院に、美並巡回バスや長良川鉄道のほか、タクシーの利用または家族による送迎など、大変苦労されていると聞いている。美並巡回バスは、車両の更新時期が近付いているため、小型車両を複数台整備し、効率的な運行ができないかを検討している。

◆子どもの数が減っていく中で、美並町の小学校の今後についてお聞きしたい。また、いじめについてニュース等を見ると不安に感じるが、いじめ発生時には教育委員会も学校をフォローしているのか伺いたい。

市長：三城小学校、吉田小学校は、今後、児童数が減少していくと考えられるので、将来的に統廃合を検討する必要がある。

教育長：いじめと捉えられる場合は、学校から教育委員会へ報告がある。教育委員会では、学校の対応過程を見ながら対策を講じ、必要に応じて弁護士と相談することも考えられる。

◆通勤で岐阜バス的高速バスを利用しているが、経路が変更され岐阜駅への到着時刻が遅くなった。このバスで郡上から通勤する人は、会社への到着が遅くなり不便である。元の時間に戻すよう提言していただけないか。

市長：利用者の利便性を考慮し

て、現状の把握と岐阜バスへの提言をさせていただく。



明宝会場（11月27日）

◆明宝保健センターを児童館や料理教室として使用できないか。また、明宝歴史民俗資料館の周辺に公園としての機能を加えられないか。

市長：明宝保健センターの利用状況を確認し、施設の設置目的に反しない範囲となるが、柔軟な対応をしたいと考える。また、明宝歴史民俗資料館前の広場は来場者駐車場となつているため、施設利用者との調整を図りながら検討したい。

◆将来、空き家となる見込みの家について相談できる体制が必要だと考える。また、空き家の活用に向けては家屋の改修や、耐震化などに多額の費用が必要となる場合があり、活用に踏み切れないのが現実である。

市長：空き家になることが見込まれる家屋については、事前に今後の対応を話し合っておく必

要がある。基本的には個人間の話であるが、地域としても話されておくとよいと考える。郡上市へ移住される人に対する家屋の改修費用について、空き家改修補助金等を設けているので活用していただきたい。

◆「千葉家のいりり火」は、2年後に点火から800年を迎える。しかし、千葉家だけで灯し続けることが難しくなつており、郡上市の宝として将来的な保存方法を考える時期にきていると考える。

市長：800年間、火を絶やさず守つてこられたことは、貴重だと考える。単に灯し続けるだけならば現在の技術で可能と考えるが、重要なことは千葉家を守りつづけてきたことであり、そこに歴史的な重みがあると考える。今後は、明宝振興事務所を中心に検討したい。

◆適切な管理がされていない農地や山林があるが、他者がそれらを購入するためには農地保有の面積要件等ハードルが高く、耕作放棄地となる場合がある。下呂市では、面積要件等を緩和する手立てがあるようなので郡上市でも、検討していただきたい。

市長：農地付住宅の購入は、面積要件が緩和できるとされてい

るので検討中である。また、森林については、森林経営管理法が施行され、所有者が管理できない場合は、自治体が委託を受け、林業経営者に管理をまかせられるようになっていく。



大和会場（11月29日）

◆8月に郡上市全体がどぶろく特区となった。また、11月には大和町で「全国どぶろく研究大会in郡上」が開催された。今後、どぶろくづくりが市の産業となることや「郡上どぶろく大会」が開催されることを望む。市長に、全国大会へ参加された感想などを聞きたい。

市長：大会の開催に尽力いただいた実行委員会をはじめ関係者のみなさんに感謝する。大会では全国から86銘柄が集まり、それぞれ個性があり奥が深いと感じた。市全体でどぶろく製造が可能となり、農業6次化の取り組みに向け大和地域にはリーダーシップを発揮していただきたい。

◆古今伝授の里フィールドミュージアムは、「よぶどり」が完成したことにより身近に感じられ、集いやすい場所となった。しかし、「ももちどり」は依然として敷居が高く、気軽に利用できる価格のランチなどがあると良いと考える。

市長：「よぶどり」では、所蔵している島津先生の本の展示や様々な催しを行っていく。ぜひ、気軽に立ち寄っていただきたい。「ももちどり」については、運営を行う大和総合開発に意見を伝えたい。

◆学校教育において、来年度から加わるプログラミング教育に不安を感じている。これまで、子供たちがパソコンやゲームをやりにすぎないように注意していたが、これからはパソコンに向かう時間やゲームを作ることが大切だといわれることに矛盾を感じている。

市長：プログラミングの教育について重要なことは、論理的な思考の基礎をつくることだと考える。時代の変化に浮足立たず、子どもたちを育てていくことが大切だと考える。

教育長：学習指導要領が変更されるが、プログラミング教育が始まるが、新たに加えられた内容のため注目されている。しかし、大切なことは10年前も今も変わらず、生きる力と柔軟な発想であると考える。

◆学校統合に関する座談会の中で、あと5年ほどで大和町内の小学校が1校になると聞いた。この計画では、現在の小学生は卒業してしまうので統合を早く進めてほしい。

市長：学校は地域の人々にとつても心のよりどころであり、統合については慎重に検討している。子どもたちのことを第一に考え、地域や保護者のみなさんで話し合い、理解を深めていただきたい。

教育長：学校を統合する際には、統合前から学校間の交流を増やし、子供たちが不安にならないよう事前の合同学習など十分な準備を行っていく。

